

ナイス福岡 会報

自然感

くすのき

2021年8月

第

313

号



“夏の野山は濃い緑一色って感じですが、中でも元気なつる植物は、葉の連続性がけっこう面白い。

なんにでも絡みつき周りの植物は迷惑そうではありますが。“aiko

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号

田村の自宅内 TEL : 092-844 - 4381

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会 (121回)

日時：8月21日(土) 10時から12時

の予定は、コロナウィルス拡散防止のため、公園が利用できるようになるまで、**延期**します。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160 [田村の携帯]

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

8月まで休止 9月19日（日）
 天拝山探鳥会（筑紫野市）
 時間：8:00～11:00（夏時間）
 集合：天拝山歴史自然公園
 問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

8月22日（日）9月26日（日）
 久末ダム探鳥会（福岡町）
 時間：8:00～11:00（夏時間）
 集合：久末ダム多目的広場横
 駐車場（管理事務所下）
 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

9月5日（日）
 今津探鳥会（福岡市西区）
 時間：8:00～11:00
 集合：玄洋高校西側道路
 問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

8月14日（土）9月11日（土）
 大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
 時間：9:00～12:00
 集合：ボート乗り場前
 問合せ：092-834-8644（持永俊行）

8月まで休止
 和白海岸探鳥会（福岡市東区）
 時間：9:00～12:00
 集合：JR和白駅前の公園
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

9月7日（火）
 県営春日公園（春日市）
 時間：10:00～12:00
 集合：音楽堂ステージ側（第5P）
 問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

福岡植物友の会



8月は
お休み
です。



イラガのお口 三国・松永

8月まで休止
 問合せ：佃 昇（092-662-2983）
 要予約 参加は有料

久留米の自然を守る会

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

8月7日（土）
 樹木の名札つけと自然観察
 時間：9:00～12:30
 集合：高良大社階段下茶店前
 持ち物：弁当・飲み物など
 問合せ：0942-43-7959（河内）

9月4日（土）
 集合：九州歴史資料館駐車場
 時間：9:30～12:00（早めに終わるか
 かもしれません）
 問合せ：092-920-3072
 参加費：大人 200円
 コロナ対策：ブログにて確認
 ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

 観察会や様々な生きもの情報を載せています



庭で成長するニホンアカガエル・三国 松永

和白干潟を守る会 主催

8月28（土）
 定例会議
 時間：12:30～14:00
 集合：和白干潟を守る会事務所
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

8月28（土）
 クリーン作戦 と自然観察会
 時間：15:00～17:00
 集合：海の広場 駐車場なし
 長靴・軍手があると便利
 問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

2021年7月 私のデジカメ日誌より 本のおし

今回は、7月1日(旧暦5月22日)~7月31日(旧暦6月22日)までのデジカメ日誌です。



7月3日(旧暦6月24日) 筑紫野市天拝坂
ツチバチの仲間だろうか？ 雨上がりの木の葉の上で、ジッとしている。毛深い体毛に雨粒が丸い球となって、きらっと光っていた。



7月7日(旧暦5月28日)・7月10日(旧暦5月31日)
筑紫野市天拝坂 今年も、元気なモズの幼鳥が観られた。右と左は、別個体。今、自宅での探鳥記録をまとめているが、過去23年間で、モズが一番多く観察された。



7月9日(旧暦5月30日) 福岡市東区志賀島
いつもの場所で、ミサゴが繁殖したようだ。近くの岩礁に少なくとも二羽は幼鳥らしいのを観た。写真は親のようだ。道路沿いにホットドッグ屋があり、客以外は駐車できなくなった。繁殖したのは、人と共存できているのか？



7月14日(旧暦6月5日) 筑紫野市天拝坂南公園
昼前に、公園でギャーギャーうるさいと思ったら、ハシボソガラスの幼鳥らしいのが、草むらにうずくまっている。時折、目の瞬膜を、ぱちくりしている。親離れの途中かな。用を済ませて戻ってきたら、もういなかった。



7月20日(旧暦6月11日) 宇佐市安心院東椎屋
滝の入口付近では、イワタバコの白花が観られた。ほとんどまだ蕾ではあった。図鑑では、白花は関東以西に自生するとあった。滝近くでは、紅紫の花も観られた。



7月21日(旧暦6月12日) 宇佐市安心院深見川
気温30度を超える真夏日の河原で、甲羅干しをしているスッポンを観た。長い首を伸ばして、辺りを警戒している。この盆地から太古のスッポン化石も出ているようです。

会員からの投稿(1) 渋田 和美

この季節限定で地元の小中学校や子供会で藍染をするのですが、藍の葉っぱを叩きだけで作る叩き染、可愛い作品がたくさんできていたので、一部を紹介します。

これは藍の葉っぱでしかできないので、やってみたい方は藍の葉を育ててみてください。

一年草なので来年春が種まきです
子供達の作品



藍の葉っぱ



会員からの投稿(2) 窓越しの自然観察 42 ～ 一期一会 ⑬ ～



夜明け前の静けさを揺きまわして鳴くカナカナゼミ、近くで聞かると目覚まし時計も面目なしですが日が昇ると、一斉にクマゼミ、アブラゼミなどに入れ替わります。蝉しくれと優雅に構えておれない彼らの合唱のスザマシさは、空の青さと比例しているように思えます。夕刻はふたたびカナカナの出番なのですが、必ずしもそうとは云えず、数年も続いて全くこの声を聞かないことも。

ところでカナカナゼミ=ヒグラシは寒蝉と書き秋の季語だとは知りませんでした。今月12日は和暦二十四節気 七十二項の「寒蝉鳴」ヒグラシ鳴き始めの日、とありますが、もっと早くまだ涼しい時期に声を聞き、驚かされることもあります。満開のサルスベリ、道路際、庭先とあちこち居場所を変えながらも毎年必ず姿を見せるタカサゴユリ、暦の上では立秋ですが、この辺りではまさに盛夏の花々です。

(ダムサイト住人 2021/8/7 記)

◎ 会員の活動紹介

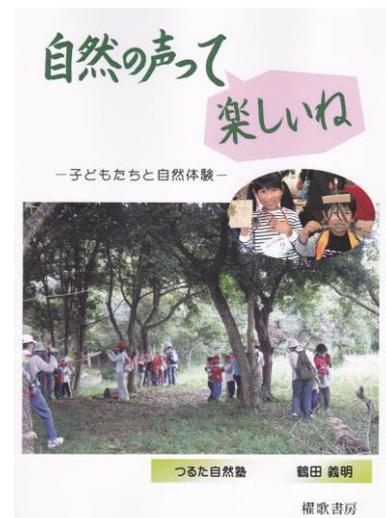
鶴田義明(つるた自然塾)さんが、今までの活動を「自然の声って 楽しいね」と題して子どもたちとの自然体験をまとめられました。B5版118ページです。

たくさんの活動内容が参考事例となります。

手に取ってみることをお勧めします。

問合せ先：電話とFax 092-804-8817

メールアドレス：turu0824@dune.ocn.ne.jp



春日公園自然観察会 報告

令和3年7月17日(土)【参加者数】3人

【担当者】、田村耕作

コロナウィルスの拡散防止対策のために、自然観察会を中止していましたが、拡散が落ち着き始めた様子から、2021年6月20日の公園使用が可能となり、活動を再開しています。しかし、再び拡散が広がっていますが、よりコロナ対策に配慮しつつ、園内を散策しました。観察は夏の花を中心に観察した。

観察コース：自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～カスケード～噴水広場～自然風庭園～自然あそび館

植物 アメリカズズメノヒエ(帰化)、メヒシバ、イスノキと虫こぶ、ウリクサ、サルスベリ、オニフスベ、ヒメユズリハ、ヤマノイモ、ホルトノキ

野鳥 アオサギ、ツバメ、キジバト、スズメ、メジロ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、アヒル、

その他の生きもの オオシオカラトンボ、クマゼミ、ニホンミツバチの群れ、ニイニイゼミ、ベニトンボ、アオメアブ

感想(参加者の声)

- ・イスノキにできる虫こぶの観察が面白かった。
- ・クマゼミの抜け殻を観察し、その特徴を確認した。
- ・サルスベリの幹の皮がはがれる理由が知りたい。

観察会風景



イスノキにできた虫こぶ

ニホンミツバチの群れ



芝地に生えたオニフスベ

緑色で覆われた調整池



クマゼミの抜け殻



以上

◎ 案内です

夏休み!

舞鶴公園の チョウとトンボたち展

場所 / 福岡市立中央市民センター
エントランス
日時 / 2021年8月1日～8月31日
内容 / チョウ 46種 トンボ 25種
撮影 / 勝瀬志保
問合せ先 / 092-751-8628

(両サイドの写真 左のチョウ / イシガケチョウ、
タテハモドキ、ムシヤクロツバメシジミ、
ルリタテハ 右のトンボ / ウチワヤンマ、
ベニトンボ、アオイトトンボ、チョウトンボ)

会員からの投稿(3) 志賀 壮史

2021年8月号 SDGsの17の目標(その9)

SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標を少しずつ取り上げています。今回は「産業と技術革新の基盤をつくろう(Industry, Innovation and Infrastructure)」です。

と言っても、産業の活性化やイノベーションについては、私自身あまり詳しくありません。

「持続可能かつ強靱なインフラを開発する」「包摂的かつ持続可能な産業化を促進する」といった普段使い慣れない言葉が目がすべる中、一つ「ああ、なるほど」と目に止まった項目がありました。それは「100万人あたりの研究者数」です。「2030年までに産業セクターの研究開発従事者数を大幅に増加させる」といったことが記載されていました。新しい技術を開発したり、環境負荷を減らすために機器の改善を行なったりするためには、産業セクターにおける科学研究を進める必要がある。そのためには研究者が大切だということです。

私個人の印象ですが、研究者はとにかくたくさんの失敗を繰り返して、経験を積むのが仕事なんじゃないでしょうか。マニュアルやレールのない場所を試行錯誤しながら進む、まるで「藪漕ぎ」のようなものかもしれません。

そんな研究者を増やそうと思った時、子どもの頃からたくさんの失敗を繰り返して、経験を積むのが大切なように思います。音楽などの表現や子ども同士の遊びやゲームももちろんよいのですが、泥団子を捏ねたり、虫を獲ったり、秘密基地を作ったりする自然体験って、安心して無数の失敗を繰り返すことができる点で、すばらしい教育なんじゃないかな?と思っています。



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2021年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 [01760-9-15783](tel:01760-9-15783)

定例会に参加してみませんか?

次回の定例会は、令和3年9月10日(金)午後2時より事務局で行います。令和3年9月号の原稿は、9/7(火)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

◆◆◆編集後記◆◆◆

編集後記 2021年7月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業した。

知人からサイヨウシャジンの花が咲き始めているとの情報が寄せられました。このサイヨウシャジン、城南区の大池のある公園でも、毎年この季節になるとたくさん花を咲かせ、公園を訪れる人々を楽しませていました。私もその一人でした。ところが、公園の一部が改修となり、サイヨウシャジンの生えている一帯もその中に入っていました。公園の改修後、その一帯は芝生のような草が植えられていました。その後、この公園ではサイヨウシャジンの花を見かけていません。私が見つけれないだけで、公園の別の場所で生き続けているといいのですが。人の利便性のために、少し改修しただけなのかもしれないが、この改修は生きものの多様性を保全するという視点のない改修だったのです。

こういうことの繰り返しで、いつの間にか、生きものの多様性を奪っていくことになるんだと、改めて思いました。田字草



撮影:2021 8月 伊藤純子